

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	専門職大学の設置								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン コウチガクエン 学校法人 高知学園								
フリガナ大学の名称	コウチリハビリテーション センモンシヨクダイガク 高知リハビリテーション専門職大学 (Kochi Professional University of Rehabilitation)								
大学本部の位置	高知県土佐市高岡町乙1139-3								
大学の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、実践的かつ創造的な教育研究により、保健医療福祉分野における高度な知識と技術、高い倫理観と豊かな人間性を備えた有能な人材を養成し、地域社会の発展と国民の健康に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	高度化かつ複雑化する社会のニーズを見据え、理論に裏付けされた実践的な知識と技術を養い、生命を扱う専門職としての資質に欠くことのできない人間力と倫理観を涵養し、多様な分野で多職種と自在に連携、協働しながら自らの専門性を発揮し、将来を切り開いていくことができる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を育成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	リハビリテーション学部 (Faculty of Rehabilitation)	年	人	年次人	人		年月第年次	高知県土佐市高岡町乙1139-3 同上 同上	
	リハビリテーション学科 (Department of Rehabilitation)								
	理学療法学専攻 (Division of Physical Therapy)	4	70	—	280	理学療法学士 (専門職)	平成31年4月第1年次		
	作業療法学専攻 (Division of Occupational Therapy)	4	40	—	160	作業療法学士 (専門職)	同上		
言語聴覚学専攻 (Division of Speech-Language-Hearing Therapy)	4	40	—	160	言語聴覚学士 (専門職)	同上			
計	4	150		600					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	高知リハビリテーション学院 理学療学科 (廃止) (△70) 作業療学科 (廃止) (△40) 言語療学科 (廃止) (△40) ※平成31年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	65 科目	17 科目	30 科目	112 科目	140 単位			
	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	66 科目	14 科目	29 科目	109 科目	141 単位			
リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	75 科目	11 科目	26 科目	112 科目	140 単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設分	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	13 人 (9)	9 人 (8)	8 人 (8)	6 人 (4)	36 人 (29)	0 人 (0)	118 人 (28)
		計	13 人 (9)	9 人 (8)	8 人 (8)	6 人 (4)	36 人 (29)	0 人 (0)	118 人 (28)
	既設分	(該当なし)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
計		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
合計		13 人 (9)	9 人 (8)	8 人 (8)	6 人 (4)	36 人 (29)	0 人 (0)	118 人 (28)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計				
	事 務 職 員		8 (8)	3 (3)	11 (11)				
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)				
	そ の 他 の 職 員		3 (3)	9 (9)	12 (12)				
	計		12 (12)	12 (12)	24 (24)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	8,181.05 m ²	0 m ²	0 m ²	8,181.05 m ²				
	運 動 場 用 地	0 m ²	24,025.00 m ²	0 m ²	24,025.00 m ²	運動場用地：高知学園短期大学と共用 高知市福井町字宮の前924-1他			
	小 計	8,181.05 m ²	24,025.00 m ²	0 m ²	32,206.05 m ²				
	その他(駐車場)	5,508.38 m ²	0 m ²	0 m ²	5,508.38 m ²	・運動場以外は土佐市借用 (26,353.96m ²) 借用期間：20年以上			
	その他	12,664.53 m ²	0 m ²	0 m ²	12,664.53 m ²				
	合 計	26,353.96 m ²	24,025.00 m ²	0 m ²	50,378.96 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	9,168.42 m ² (1,199.58 m ²)	— m ² (5,954.58 m ²)	— m ² (2,014.26 m ²)	9,168.42 m ² (9,168.42 m ²)	校舎面積は講堂兼体育館を除く				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	20 室	16 室	21 室	1 室 (補助職員一人)	— 室 (補助職員一人)	大学全体			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数					
		リハビリテーション学部リハビリテーション学科		35 室	大学全体				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	リハビリテーション学部	29,900 [1,775] (27,500 [1,715])	89 [13] (87 [11])	1 [1] (1 [1])	845 (805)	2,769 (2,659)	110 (78)	大学全体での 共用分を含む	
	計	29,900 [1,775] (27,500 [1,715])	89 [13] (87 [11])	1 [1] (1 [1])	845 (805)	2,769 (2,659)	110 (78)		
図 書 館	面積	594.35 m ²	閲覧座席数	114 席	収 納 可 能 冊 数	50,000 冊			
	面積	427.70 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要		該当なし				
体育館	該当なし								
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	0千円	0千円	・図書については設備購入費を第2年次まで計画的に整備する為、これに合わせて第2年次まで記載した ・電子ジャーナル・データベースの整備運営費は図書費に含まない
	共同研究費等		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	0千円	0千円	
	図書購入費	6,500千円	2,500千円	2,500千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	設備購入費	63,426千円	27,000千円	27,000千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,550千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入・手数料収入・雑収入等である							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	高知学園短期大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	生活科学学科	2 年	80 人	— 人	160 人	短期大学士	0.78 倍	昭和42年4月	高知県高知市旭天神町292番地26
	幼児保育学科	2 年	80 人	— 人	160 人	短期大学士	1.06 倍	昭和44年2月	同上
	医療衛生学科	3 年	80 人	— 人	240 人	短期大学士	1.00 倍	昭和43年2月	同上
看護学科	3 年	60 人	— 人	180 人	短期大学士	1.14 倍	平成20年4月	同上	

既設大学等の状況	大学の名称	高知リハビリテーション学院							※平成31年度より学生募集停止(全学科)	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所在地
		年	人	人	人		倍			
	理学療法学科	4	70	—	280	高度専門士	0.90	昭和43年度	高知県土佐市高岡町乙1139-3	
	作業療法学科	4	40	—	160	高度専門士	1.03	平成5年度	同上	
	言語療法学科	4	40	—	160	高度専門士	0.71	平成9年度	同上	
附属施設の概要		該当なし								

教育課程等の概要																
(リハビリテーション学部リハビリテーション学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2		○									兼2	オムニバス
		教育学	1前・後	2		○									兼1	
		生命倫理	3前	2		○									兼2	
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2		○				1						
		社会学	1前	2		○									兼1	
		リーダーシップ論	4後	1		○									兼1	
	地域の探求	地域課題研究 I	2後	1		○				7	2					
		地域課題研究 II	3通	1			○			9	7	3				
	自然の探求	生物学	1前		2		○								兼1	共同 共同
		数学	1後		1		○								兼1	
物理学		1後		1		○								兼1		
統計学		1後		2		○								兼1		
健康の探求	情報処理演習 I	1前	1				○		1		1					
	情報処理演習 II	1後	1				○		1		1					
外国語の探求	健康科学	1前	1			○			2						兼3	
	健康とスポーツ	1前・後	1					○								
	英語 I	1前・後	2			○			1							
	英語 II	1前・後		1		○			1							
外国語の探求	英会話	1前・後		1		○									兼1	
	中国語	1前・後		1		○									兼1	
	小計 (21科目)	—	13	17	0	—	—	—	9	9	8	3	0	兼16	—	
	基礎医学	医学英語	2前	1			○								兼1	共同 共同 共同 共同
解剖学 I (総論・神経系)		1前	1			○			1					兼1		
解剖学 II (内臓・脈管系)		1前	1			○			1					兼1		
解剖学 III (骨格系)		1後		1		○			1					兼1		
解剖学 IV (筋系)		1後		1		○			1					兼1		
生理学 I (動物性機能)		1前	1			○								兼3		
生理学 II (植物性機能)		1後	1			○								兼3		
運動生理学		1後		1		○			2							
運動生理学実習		2前		1				○	2	1		1			共同	
基礎運動学		1後		2		○				1					共同	
運動機能学実習		2前		1				○	1	1		1			共同	
理学療法運動学演習		2前		1				○	1			1			共同	
作業療法運動学演習		2前		1				○	1			2			共同	
人間発達学		1後		1			○								兼1	
小計 (14科目)	—	5	10	0	—	—	—	6	2	0	3	0	兼8	—		
臨床医学	医学概論	1後		1		○								兼1	集中	
	病理学	1後	1			○								兼1		
	内科学	2後	2			○			1					兼4		
	整形外科	2後		2		○								兼2		
	臨床神経学	2前・後	2			○								兼3		
	精神医学	2前	2			○								兼4		
	小児科学	2後	1			○								兼1		
	リハビリテーション医学	2前・後	1			○								兼3		
	臨床心理学	2前	2			○								兼1		
	耳鼻咽喉科学	2前		2		○								兼1		
	形成外科学	3前		1		○								兼1		
	臨床歯科医学	3前		1		○								兼1		
	画像診断学	3前		1		○								兼1		
	臨床栄養学	3前		1		○								兼1		
臨床薬理学	3前		1		○								兼1			
救急管理実習	3前・後	1					○						兼1			
小計 (16科目)	—	11	11	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼24	—		
保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			○			2						オムニバス	
	社会福祉概論	1前・後	2			○								兼1		
	地域包括ケア論	3後	2			○								兼2		
	チーム連携論	4前	1			○								兼1		
小計 (4科目)	—	6	0	0	—	—	—	2	0	0	0	0	兼4	—		
基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			○			2						共同 共同 共同	
	理学療法概論演習	1前	1							1		1				
	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					○								
	理学療法セミナー II (PBL)	2前	1					○		2						
	臨床運動学	2後	1					○								
	理学療法管理学	3後	1					○		1						
小計 (6科目)	—	6	0	0	—	—	—	4	3	2	1	0	0	—		
理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1			○				1					共同 共同 共同	
	理学療法測定実習 I	2前	1					○		2						
	理学療法測定実習 II	2後	1					○		2						
	理学療法検査実習 I	2前	1					○		1		1				
	理学療法検査実習 II	2後	1					○		1						
	電気診断学	3前	1			○			1							
小計 (6科目)	—	6	0	0	—	—	—	1	4	0	1	0	0	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門基幹科目 (理学療法学専攻)	運動療法学	2前	2			○			2								
	運動療法学実習	2後	1					○	2								
	物理療法学	2前	2			○									兼1	共同	
	物理療法学実習	2後	1					○		1					兼1	共同	
	理学療法日常生活活動学	2前	2			○			1							共同	
	理学療法日常生活活動学実習	2後	1					○	1		1					オムニバス・共同(一部)	
	内部障害理学療法実習	3前	2					○	2	1							
	中枢神経障害理学療法実習	3前	1					○							兼1	共同	
	脊髄障害理学療法実習	3前	1					○							兼1	共同	
	運動器障害理学療法実習	3前	1					○			1				兼1	共同	
	発達障害理学療法実習	3後	1					○		1						共同	
	老年期障害理学療法実習	3後	1					○		1	1					共同	
	義肢装具学演習	3後	1					○		1	1					兼1	オムニバス
	理学療法技術実習Ⅰ(運動関節学の手技)	3前		1					○						兼1	オムニバス	
	理学療法技術実習Ⅱ(神経筋促通手技)	3後		1						1					兼1	オムニバス	
	理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手技)	3前		1											兼1	オムニバス	
	理学療法治療学実習Ⅰ(脳障害)	3前		1											兼1	オムニバス	
	理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)	3後		1											兼1	オムニバス	
	理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障害)	3前		1											兼2	オムニバス	
	理学療法治療学実習Ⅳ(障害者スポーツ)	3後		1											兼1	オムニバス	
	臨床理学療法技法演習(PBL)	3前		1				○		1	1	1				共同	
小計(21科目)		—	18	7	0			—	5	4	2	1	0	兼11	—		
理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			○			1						兼1		
	地域理学療法学演習	3前	1					○									
	生活環境支援理学療法実習	3前	1						1							オムニバス	
	機能代償支援理学療法実習	3後	1							1		1					
	ヘルスプロモーション演習	3後	1					○	1								
小計(5科目)		—	6	0	0			—	2	1	0	1	0	兼1	—		
臨床実習法	理学療法臨床実習Ⅰ	2後	1					臨	5	5	2	1				集中	
	理学療法臨床実習Ⅱ	3後	4					臨	5	5	2	1				集中	
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	18					臨	5	5	2	1				集中	
	小計(3科目)		—	23	0	0			—	5	5	2	1	0	0	—	
職業専門科目	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			○			1							
		生活活動と障害	1前	1								3					共同
		基礎作業学実習	1前	1								2					共同
		応用作業学実習	1後	1								2					共同
		作業療法セミナー	1後	1					○		2	3	3				
		作業療法管理学	4前	1				○				1				兼1	オムニバス
	小計(6科目)		—	6	0	0			—	1	2	3	3	0	兼1	—	
	作業療法学 評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			○			1							
		作業療法評価実習Ⅰ(身体系)	2前	1					○			1	2				共同
		作業療法評価実習Ⅱ(精神・認知系)	2前	1							2						共同
作業療法評価実習Ⅲ(発達系)		2後	1								1				兼1	オムニバス	
小計(4科目)		—	5	0	0			—	1	2	2	2	0	兼1	—		
作業療法学 治療学	作業分析学	2前	1			○			1								
	作業分析演習	2後	1					○	1			1				共同	
	基礎作業療法治療学Ⅰ(身体系)	2後	2					○	1								
	基礎作業療法治療学Ⅱ(精神・認知系)	2後	2					○		1							
	作業療法日常生活活動学	2前	1					○			1						
	日常生活支援作業療法実習	2後	1								1						
	義肢・装具作業療法実習	2後	1							1					兼1	オムニバス	
	身体障害作業療法実習Ⅰ(中枢神経系)	3前	1						1				2			共同	
	身体障害作業療法実習Ⅱ(脊髄・運動器系)	3前	1								1		1			オムニバス	
	身体障害作業療法実習Ⅲ(内部系)	3前	1												兼1	オムニバス	
	精神障害作業療法実習Ⅰ	3前	1							2						共同	
	精神障害作業療法実習Ⅱ	3後	1							2						共同	
	老年期障害作業療法実習Ⅰ	3前	1								1						
	老年期障害作業療法実習Ⅱ	3後	1							1	1					共同	
	発達障害作業療法実習	3前	1								1				兼1	オムニバス	
	高次脳機能障害作業療法実習	3後	1							1		1			兼1	オムニバス・共同(一部)	
	臨床作業療法技法実習Ⅰ(PBL)	2前	1							1	1	2				共同	
	臨床作業療法技法実習Ⅱ(PBL)	3後	1							1	1	2				共同	
小計(18科目)		—	20	0	0			—	1	3	3	3	0	兼5	—		
作業療法学 地域	地域作業療法学	2後	2			○						1					
	地域作業療法学演習	3前	1					○				1					
	生活環境支援作業療法実習	3前	1									1				兼1	
	機能代償支援作業療法実習	3後	1									1				オムニバス	
	就労支援作業療法演習	3後	1							1			1			オムニバス	
	生活活動マネジメント	3後		1								1				オムニバス	
	地域支援Ⅰ(余暇活動)	3後		1				○				2					
	地域支援Ⅱ(認知症)	3後		1				○			1	1					
小計(8科目)		—	6	3	0			—	0	2	3	2	0	兼3	—		
臨床実習法	作業療法臨床実習Ⅰ	2後	2					臨		2	3	4				集中	
	作業療法臨床実習Ⅱ	3後	6					臨		2	3	4				集中	
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	16					臨		2	3	4				集中	
	小計(3科目)		—	24	0	0			—	0	2	3	4	0	0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
職業専門科目 (言語聴覚学専攻)	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			○			1	1					オムニバス	
		言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			○			1	1					オムニバス	
		失語症学	1後	2			○									兼1	
		聴覚系医学	2前	2			○									兼2	
		音声・言語系医学	2後	2			○									兼3	
		発達心理学	2後	1			○									兼1	
		言語学	2前	2			○									兼1	
		音声学	2後	2			○									兼1	
		音響学(聴覚心理学を含む)	2後	2			○									兼1	
		聴覚障害学	2前	2			○									兼1	
		音声障害学実習	2後	1					○		1						
		学習・認知心理学	3前	1			○										兼1
		言語発達学	3前	1			○				1						
		高次脳機能障害学	3前	1			○				1		1				兼1
		言語発達障害学	3前	1			○										兼1
		重複障害学	3後	1			○				1						兼1
		学習障害・広汎性発達障害学	3前	1			○				1						兼1
		機能的構音障害学実習	3前	1					○		1						兼1
		器質性構音障害学実習	3前	1					○								兼1
		運動障害性構音障害学実習	3後	1					○								兼1
		吃音学	3前	1			○										兼1
		嚥下障害学実習	3前	1					○								兼2
		補聴器・人工内耳学	3前	2			○						2				兼1
		言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					○				2				共同
		言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					○				2				共同
小計(25科目)	—	—	35	0	0	—	—	—	1	2	2	1	0		兼20	—	
言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習	2前	1					○		1	1					共同	
	言語発達障害評価実習	2後	1					○		1	1					共同	
	聴覚検査学	2後	2			○									兼1		
	聴覚障害検査実習	2後	1					○							兼1		
	失語・高次脳機能障害検査実習	3前	1					○			1				兼1		
	失語・高次脳機能障害評価実習	3後	1					○		1					兼1		
	発声発語・嚥下障害検査実習	3前	1					○			1				兼1		
	発声発語・嚥下障害評価実習	3後	1					○			1				兼1		
	心理測定法実習	3後	1					○							兼1		
	小計(9科目)	—	—	10	0	0	—	—	—	0	2	2	0	0		兼4	—
言語聴覚療法実習	言語聴覚療法技術実習Ⅰ(言語発達障害)	3後	1					○		1						兼1	
	言語聴覚療法技術実習Ⅱ(高次脳機能障害)	3後	1					○			1					兼1	
	言語聴覚療法技術実習Ⅲ(失語)	4前	1					○		1						兼1	
	言語聴覚療法技術実習Ⅳ(発声発語・嚥下障害)	4前	1					○		1						兼1	
	小計(4科目)	—	—	4	0	0	—	—	—	0	2	1	0	0		兼3	—
臨床言語聴覚学	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ	2後	1					臨		1	2	2	1			集中	
	言語聴覚療法臨床実習Ⅱ	3後	3					臨		1	2	2	1			集中	
	言語聴覚療法臨床実習Ⅲ	4前	16					臨		1	2	2	1			集中	
	小計(3科目)	—	—	20	0	0	—	—	—	1	2	2	1	0		—	
展開科目	理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			○			1						兼1	
		スポーツ心理学	1後	2			○									兼1	
		学校保健論	2前	1			○									兼1	
		産業保健論	2前	1			○									兼1	
		企業論	2前	2			○									兼1	
		データ分析論	2後	2			○			1							
		経営組織論	3前	2			○										兼1
		マーケティング論	3前	2			○										兼1
		会計学総論	3前	2			○										兼1
		経営管理論	3後	2			○										兼1
		起業論	3後	2			○										兼1
	小計(11科目)	—	—	20	0	0	—	—	—	2	0	0	0	0		兼9	—
	作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1前	2			○										兼1
		社会的企業論	1後	2			○										兼2
		福祉工学基礎論	2前	2			○										兼1
		地域福祉論	2前	2			○										兼1
		精神障害福祉論	2後	2			○										兼1
		障害者福祉論	3前	2			○										兼1
		地域防災論	3前	2			○										兼1
		更生保護制度論	3前	2			○										兼1
		特別支援教育論	3前	2			○										兼1
		対人援助技術論	3前	2			○										兼2
	小計(10科目)	—	—	20	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0		兼12	—
	言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1			○										兼1
		マンガ概論	1前	2			○										兼1
マンガ基礎実習		1前	1					○								兼1	
活字デザイン論		1後	2			○										兼1	
視覚デザイン概論		2前	2			○										兼1	
カラーコミュニケーション概論		2前	2			○										兼1	
視覚伝達デザイン論		2後	2			○										兼1	
情報メディア学入門		2後	2			○										兼1	
広告論		3前	2			○										兼1	
企業広報活動論		3前	2			○										兼1	
小計(11科目)	—	—	20	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0		兼9	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	理学療法	理学療法地域支援実習	4後	1					5	5	2	1		集中 集中 集中・共同 集中・共同 集中・共同	
		応用理学療法演習	4後	2				○	3	5	2	1			
		理学療法総合演習Ⅰ	4後		1			○	1	1	1				
		理学療法総合演習Ⅱ	4後		1			○	2	2					
		理学療法総合演習Ⅲ	4後		1			○	1	1					
	小計(5科目)	—	3	3	0			—	5	5	2	1	0	0	
	応用理学療法	作業療法地域支援実習	4後	1						2	3	4		集中 集中 集中 集中・共同 集中・共同	
		応用作業療法演習	4後	2				○	1	3	3				
		作業療法総合演習Ⅰ	4後		1			○		1					
		作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			○	1	1	1				
		作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			○	1	1	1				
	小計(5科目)	—	3	3	0			—	0	2	3	4	0	0	
	応用言語聴覚	言語聴覚療法地域支援実習	4後	1						1	2	2	1		集中 集中 集中 集中 集中
		応用言語聴覚演習	4後	2				○	1	2	2				
		言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			○		1					
言語聴覚療法総合演習Ⅱ		4後		1			○			1					
言語聴覚療法総合演習Ⅲ		4後		1			○								
小計(5科目)	—	3	3	0			—	1	2	2	1	0	兼1		
合計(223科目)			—	293	57	0		—	13	9	8	6	0	兼118	
学位又は称号		理学療法学士(専門職) 作業療法学士(専門職) 言語聴覚学士(専門職)	学位又は学科の分野				保健衛生学関係(リハビリテーション関係)								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>《理学療法学専攻》</p> <p>①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探求」、「地域の探求」、「自然の探求」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。</p> <p>③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。</p> <p>④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。</p> <p>⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。 (履修科目の登録上の上限：48単位/年間)</p>							1学年の学期区分					2学期			
<p>《作業療法学専攻》</p> <p>①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探求」、「地域の探求」、「自然の探求」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。</p> <p>③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。</p> <p>④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。</p> <p>⑤卒業要件単位数は合計141単位以上を修得する。 (履修科目の登録上の上限：48単位/年間)</p>							1学期の授業期間					16週			
<p>《言語聴覚学専攻》</p> <p>①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探求」、「地域の探求」、「自然の探求」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。</p> <p>③展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。</p> <p>④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。 (履修科目の登録上の上限：48単位/年間)</p>							1時限の授業時間					90分			

教育課程等の概要																
(リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	人間の探求	心理学 教育学 生命倫理	1前 1前・後 3前	2 2 2			○ ○ ○							兼2 兼1 兼2	オムニバス	
	社会の探求	コミュニケーション論 社会学 リーダーシップ論 国際関係論	1前・後 1前 4後 4後	2 2 1 2			○ ○ ○ ○			1				兼1 兼1 兼1		
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ	2後 3通	1 1			○ ○		7	2 9	7	3				
	自然の探求	生物学 数学 物理学 統計学 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後 1後 1後 1前 1後		2 1 1 2		○ ○ ○ ○							兼1 兼1 兼1 兼1	共同 共同	
	健康の探求	健康科学 健康とスポーツ	1前 1前・後	1 1			○ ○		2					兼3		
	外国語の探求	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話 中国語	1前・後 1前・後 1前 1前・後	2 1 1 1			○ ○ ○ ○		1 1					兼1 兼1		
	小計(21科目)			—	13	17	0	—		9	9	8	3	0	兼16	—
	職業専門科目	基礎医学	医学英語	2前	1			○							兼1	
			解剖学Ⅰ(総論・神経系)	1前	1			○			1				兼1	
			解剖学Ⅱ(内臓・脈管系)	1前	1			○			1				兼1	
解剖学Ⅲ(骨格系)			1後		1		○			1				兼1		
解剖学Ⅳ(筋系)			1後		1		○			1				兼1		
生理学Ⅰ(動物性機能)			1前	1			○							兼3		
生理学Ⅱ(植物性機能)			1後	1			○							兼3		
運動生理学			1後				○			2					共同	
運動生理学実習			2前		1		○			2	1		1		共同	
基礎運動学			1後		2		○			2	1				共同	
運動機能学実習	2前		1			○		1	1		1		共同			
理学療法運動学演習	2前		1			○		1			1		共同			
作業療法運動学演習	2前		1			○		1			2		共同			
人間発達学	1後		1			○							兼1			
小計(14科目)			—	5	10	0	—		6	2	0	3	0	兼8	—	
臨床医学	医学概論	1後		1			○							兼1		
	病理学	1後	1				○							兼1		
	内科学	2後	2		2		○		1				兼4			
	整形外科学	2後					○							兼2		
	臨床神経学	2前・後	2				○						兼3			
	精神医学	2前	2				○						兼4			
	小児科学	2後	1				○						兼1			
	リハビリテーション医学	2前・後	1				○						兼3			
	臨床心理学	2前	2				○						兼1			
	耳鼻咽喉科学	2前		2			○						兼1			
形成外科学	3前		1			○						兼1				
臨床歯科医学	3前		1			○						兼1				
画像診断学	3前		1			○						兼1				
臨床栄養学	3前		1			○						兼1				
臨床薬理学	3前		1			○						兼1				
救急管理実習	3前・後		1									兼1	集中			
小計(16科目)			—	11	11	0	—		1	0	0	0	0	兼24	—	
保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1				○							兼1		
	社会福祉概論	1前・後	2				○		2				兼2	オムニバス		
	地域包括ケア論	3後	2				○						兼1			
	チーム連携論	4前	1				○						兼1			
小計(4科目)			—	6	0	0	—		2	0	0	0	0	兼4	—	
専門基礎科目(理学療法学専攻)	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			○							兼1		
		理学療法概論演習	1前	1				○			1		1		共同	
		理学療法セミナーⅠ(PBL)	1後	1				○			2		1		共同	
		理学療法セミナーⅡ(PBL)	2前	1				○							共同	
		臨床運動学	2後	1				○								
		理学療法管理学	3後	1				○			1					
小計(6科目)			—	6	0	0	—		4	3	2	1	0	0	—	
理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				○							共同		
	理学療法測定実習Ⅰ	2前	1							2				共同		
	理学療法測定実習Ⅱ	2後	1							2				共同		
	理学療法検査実習Ⅰ	2前	1							1		1		共同		
	理学療法検査実習Ⅱ	2後	1							1				共同		
	電気診断学	3前	1				○			1				共同		
小計(6科目)			—	6	0	0	—		1	4	0	1	0	0	—	

教育課程等の概要																
(リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	人間の探求	心理学 教育学 生命倫理	1前 1前・後 3前	2 2 2			○ ○ ○							兼2 兼1 兼2	オムニバス	
	社会の探求	コミュニケーション論 社会学 リーダーシップ論 国際関係論	1前・後 1前 4後 4後	2 1 1 2			○ ○ ○ ○		1					兼1 兼1 兼1		
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ	2後 3通	1 1			○ ○		7	2 9	7	3				
	自然の探求	生物学 数学 物理学 統計学 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後 1後 1後 1前 1後	1 1 1 2 1 1	2 1 1 2		○ ○ ○ ○ ○ ○		1 1		1 1			兼1 兼1 兼1 兼1	共同 共同	
	健康の探求	健康科学 健康とスポーツ	1前 1前・後	1 1			○ ○		2						兼3	
	外国語の探求	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話 中国語	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	2 1 1 1			○ ○ ○ ○		1 1						兼1 兼1	
	小計（21科目）			—	13	17	0	—	9	9	8	3	0	兼16	—	
	職業専門科目	基礎医学	医学英語	2前	1			○							兼1	
			解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			○		1					兼1	
			解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			○		1					兼1	
解剖学Ⅲ（骨格系）			1後	1	1		○		1					兼1		
解剖学Ⅳ（筋系）			1後	1	1		○		1					兼1		
生理学Ⅰ（動物性機能）			1前	1			○							兼3		
生理学Ⅱ（植物性機能）			1後	1			○							兼3		
運動生理学			1後	1	1		○		2							
運動生理学実習			2前	1	1		○	○	2	1		1			共同	
基礎運動学			1後	2			○		2	1						
運動機能学実習	2前	1	1		○	○	1	1			1		共同			
理学療法運動学演習	2前	1	1		○	○	1				1		共同			
作業療法運動学演習	2前	1	1		○	○	1				2		共同			
人間発達学	1後	1	1		○								兼1			
小計（14科目）			—	5	10	0	—	6	2	0	3	0	兼8	—		
職業専門科目	臨床医学	医学概論	1後	1	1		○							兼1		
		病理学	1後	1			○							兼1		
		内科学	2後	2			○		1					兼4		
		整形外科	2後	2	2		○									
		臨床神経学	2前・後	2			○							兼2		
		精神医学	2前	2			○							兼3		
		小児科学	2後	1			○							兼4		
		リハビリテーション医学	2前・後	1			○							兼1		
		臨床心理学	2前	2			○							兼3		
		耳鼻咽喉科学	2前	2	2		○							兼1		
形成外科学	3前	1	1		○							兼1				
臨床歯科医学	3前	1	1		○							兼1				
画像診断学	3前	1	1		○							兼1				
臨床栄養学	3前	1	1		○							兼1				
臨床薬理学	3前	1	1		○							兼1				
救急管理実習	3前・後	1	1		○	○						兼1	集中			
小計（16科目）			—	11	11	0	—	1	0	0	0	0	兼24	—		
職業専門科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			○		2							
		社会福祉概論	1前・後	2			○							兼1	オムニバス	
		地域包括ケア論	3後	2			○							兼2		
		チーム連携論	4前	1			○							兼1		
小計（4科目）			—	6	0	0	—	2	0	0	0	0	兼4	—		
職業専門科目	作業療法学	作業療法概論	1前	1			○		1							
		生活活動と障害	1前	1							3				共同	
		基礎作業学実習	1前	1							2				共同	
		応用作業学実習	1後	1							2				共同	
		作業療法セミナー	1後	1				○			2	3	3			
		作業療法管理学	4前	1			○				1				兼1	オムニバス
小計（6科目）			—	6	0	0	—	1	2	3	3	0	兼1	—		
職業専門科目	作業療法学専攻	基礎作業療法評価学	2前	2			○		1							
		作業療法評価実習Ⅰ（身体系）	2前	1							1	2			共同	
		作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）	2前	1						2					共同	
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）	2後	1							1				兼1	オムニバス
小計（4科目）			—	5	0	0	—	1	2	2	2	0	兼1	—		

教育課程等の概要														
（リハビリテーション学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻）														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	人間の探求 社会の探求	心理学	1前	2		○								兼2
		教育学	1前・後	2		○								兼1
		生命倫理	3前	2		○								兼2
		コミュニケーション論	1前・後	2		○				1				
		社会学	1前		2	○								兼1
		リーダーシップ論	4後	1		○								兼1
		国際関係論	4後		2	○								兼1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1		○			7	2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			○			9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2	○								兼1
	数学	1後		1	○								兼1	
	物理学	1後		1	○								兼1	
	統計学	1後		2	○								兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1			○		1		1			共同 共同	
	情報処理演習Ⅱ	1後	1			○		1		1				
健康の探求	健康科学	1前	1			○		2						
	健康とスポーツ	1前・後	1				○						兼3	
外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			○		1						
	英語Ⅱ	1前・後		1		○		1						
	英会話	1前・後		1		○							兼1	
	中国語	1前・後		1		○							兼1	
	小計（21科目）	—	13	17	0	—	—	9	9	8	3	0	兼16	—
職業専門科目	基礎医学	医学英語	2前	1		○								兼1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1		○			1					兼1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1		○			1					兼1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1	○			1					兼1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1	○			1					兼1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1		○								兼3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1		○								兼3
		運動生理学	1後		1	○			2					
		運動生理学実習	2前		1			○	2	1		1		共同
		基礎運動学	1後		2		○			1				共同
		運動機能学実習	2前		1			○	1	1		1		共同
		理学療法運動学演習	2前		1			○	1			1		共同
		作業療法運動学演習	2前		1			○	1			2		共同
		人間発達学	1後		1		○							兼1
	小計（14科目）	—	5	10	0	—	—	6	2	0	3	0	兼8	—
	臨床医学	医学概論	1後		1	○								兼1
	病理学	1後	1		○								兼1	
	内科学	2後	2		○			1					兼4	
	整形外科	2後		2	○								兼2	
	臨床神経学	2前・後	2		○								兼3	
	精神医学	2前	2		○								兼4	
	小児科学	2後	1		○								兼4	
	リハビリテーション医学	2前・後	1		○								兼1	
	臨床心理学	2前	2		○								兼3	
	耳鼻咽喉科学	2前		2	○								兼1	
	形成外科学	3前		1	○								兼1	
	臨床歯科医学	3前		1	○								兼1	
	画像診断学	3前		1	○								兼1	
	臨床栄養学	3前		1	○								兼1	
	臨床薬理学	3前		1	○								兼1	
	救急管理実習	3前・後		1			○						兼1	
	小計（16科目）	—	11	11	0	—	—	1	0	0	0	0	兼24	—
保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			○		2						
	社会福祉概論	1前・後	2			○							兼1	
	地域包括ケア論	3後	2			○							兼2	
	チーム連携論	4前	1			○							兼1	
	小計（4科目）	—	6	0	0	—	—	2	0	0	0	0	兼4	—
専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2		○			1	1				オムニバス
		言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2		○			1	1				オムニバス
		失語症学	1後	2		○								兼1
		聴覚系医学	2前	2		○								兼2
		音声・言語系医学	2後	2		○								兼3
		発達心理学	2後	1		○								兼1
		言語学	2前	2		○								兼1
		音声学	2後	2		○								兼1
		音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2		○								兼1
		聴覚障害学	2前	2		○								兼1
		音声障害学実習	2後	1				○		1				
		学習・認知心理学	3前	1			○				1			
言語発達学	3前	1			○									
高次脳機能障害学	3前	1			○				1		1		兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
職業専門科目 (言語聴覚学専攻)	基礎言語聴覚学	言語発達障害学	3前	1			○									兼1	オムニバス オムニバス 集中 集中 オムニバス 共同 共同	
		重複障害学	3後	1			○									兼1		
		学習障害・広汎性発達障害学	3前	1			○									兼1		
		機能性構音障害学実習	3前	1					○							兼1		
		器質性構音障害学実習	3前	1					○							兼1		
		運動障害性構音障害学実習	3後	1					○							兼2		
		吃音学	3前	1			○									兼1		
		嚥下障害学実習	3前	1					○							兼2		
		補聴器・人工内耳学	3前	2			○									兼1		
		言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1				○				2				兼1		
	言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1				○				2				兼1			
	小計(25科目)	—	35	0	0	—	—	—	1	2	2	1	0	兼20	—			
	言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習	2前	1					○								兼1	共同 共同 共同 共同 オムニバス
		言語発達障害評価実習	2後	1					○								兼1	
		聴覚検査学	2後	2			○									兼1		
		聴覚障害検査実習	2後	1					○							兼1		
		失語・高次脳機能障害検査実習	3前	1					○			1				兼1		
		失語・高次脳機能障害評価実習	3後	1					○			1				兼1		
		発声発語・嚥下障害検査実習	3前	1					○			1				兼1		
		発声発語・嚥下障害評価実習	3後	1					○			1				兼1		
心理測定法実習		3後	1					○							兼1			
小計(9科目)	—	10	0	0	—	—	0	2	2	0	0	兼4	—					
言語聴覚療法	言語聴覚療法技術実習Ⅰ(言語発達障害)	3後	1					○								兼1	オムニバス オムニバス オムニバス	
	言語聴覚療法技術実習Ⅱ(高次脳機能障害)	3後	1					○								兼1		
	言語聴覚療法技術実習Ⅲ(失語)	4前	1					○			1				兼1			
	言語聴覚療法技術実習Ⅳ(発声発語・嚥下障害)	4前	1					○			1				兼1			
小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	0	2	1	0	0	兼3	—					
言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ	2後	1					臨			1	2	2	1		兼1	集中 集中 集中	
	言語聴覚療法臨床実習Ⅱ	3後	3					臨			1	2	2	1		兼1		
	言語聴覚療法臨床実習Ⅲ	4前	16					臨			1	2	2	1		兼1		
小計(3科目)	—	20	0	0	—	—	1	2	2	1	0	兼9	—					
展開科目	言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1			○									兼1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		マンガ概論	1前	2			○									兼1		
		マンガ基礎実習	1前	1			○									兼1		
		活字デザイン論	1後	2			○									兼1		
		視覚デザイン概論	2前	2			○									兼1		
		カラーコミュニケーション概論	2前	2			○									兼1		
		視覚伝達デザイン論	2後	2			○									兼1		
		情報メディア学入門	2後	2			○									兼1		
		広告論	3前	2			○									兼1		
		企業広報活動論	3前	2			○									兼1		
広告デザイン論	3前	2			○									兼1				
小計(11科目)	—	20	0	0	—	—	0	0	0	0	0	兼9	—					
総合科目	言語聴覚学応用	言語聴覚療法地域支援実習	4後	1				○			1	2	2	1		兼1	集中 集中 集中 集中 集中	
		応用言語聴覚学演習	4後	2				○			1	2	2			兼1		
		言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			○				1				兼1		
		言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1			○					1			兼1		
		言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1			○								兼1		
小計(5科目)	—	3	3	0	—	—	1	2	2	1	0	兼1	—					
合計(112科目)		—	127	41	0	—	—	13	9	8	4	0	兼78	—				
学位又は称号		言語聴覚学士(専門職)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)										
卒業要件及び履修方法							授業期間等											
<p>《言語聴覚学専攻》</p> <p>①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探求」、「地域の探求」、「自然の探求」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。</p> <p>③展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。</p> <p>④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。</p> <p>⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。 (履修科目の登録上の上限：48単位/年間)</p>							1学年の学期区分		2学期									
							1学期の授業期間		16週									
							1時限の授業時間		90分									